

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
実践課題制作											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	白鳥 裕之			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
プロダクトデザインを中心に企業との商品開発やディレクションを行いながら、これまでのキャリアを通じて出会った様々な地域の人、技術、資源をつなげる新たな商社としての役割のほか、自社でのオリジナル商品の開発や販売、イベント企画なども行っている。											
授業概要											
この授業では、デザインの分野で重視される3Rのテーマに取り組み、調査、分析、企画、デザインの一連の流れを実習を通して学ぶ授業です。講師からアドバイスで学びを深め、学生の「デザイン企画力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「デザイン企画案」を自分自身の実践し、提案できるようになることを目指す。											
到達目標											
この科目では、学生がデザインの分野で重視される、3Rのテーマに取り組むことでデザイン提案をプロセスから学び、調査分析から、コンセプト立案、デザインワーク、プレゼンテーションを行い、検証を重ねながら提案します。プロダクトデザイナーの仕事を理解して、社会、環境の問題を考えたサステイナブルなデザイン力を向上させること、デザイナーとして考察を深めることを目標にしている。											
授業方法											
この科目を受講する学生は、実践的な課題として、デザインの分野で重視されるテーマの企画を行い、提案に必要な資料やモデルを制作します。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ企画書を実践的な実習から学び、理解し、身に着けるようになる。プロダクトデザインの「商品企画」に関連する調査分析、コンセプト、デザイン提案をまとめ、必要な能力を積極的に学び、実践することができるようになるのが狙いである。											
成績評価方法											
プレゼン（20%）：制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度（40%）：提出課題完成度を総合的に評価する リサーチ（20%）：制作準備と過程を評価する 平常点（20%）：積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。今後、現場で求められる専門的な知識と技術の修得を考えた実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介 「第1課題」 レクチャー：課題説明										
第2回	リサーチ：学校内調査										
第3回	まとめ：データ作成										
第4回	発表：プレゼンテーション データ提出										
第5回	「第2課題」 レクチャー：課題説明										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
実践課題制作	
第6回	アイデア検討：アイデア展開、ラフモデル製作、素材、機能、構成など仕様を決定
第7回	中間チェック
第8回	モデル制作
第9回	モデル制作：プレゼンチェック
第10回	プレゼンテーション：プレゼンテーション
第11回	レビュー：課題の振り返り、 データ提出 「第3課題」 レクチャー：説明
第12回	リサーチ
第13回	中間チェック
第14回	モデル制作：プレゼンチェック
第15回	プレゼンテーション：プレゼンテーション データ提出